



小郡市立小郡中学校 令和7年1月8日

小郡中学校だより 第227号

校長 船津聡哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

あけましておめでとうございます 本年もどうぞよろしくお願いたします

新年 あけましておめでとうございます。

それぞれの思いで令和7(2025)年を迎えられたことと思います。

3年生のご家庭では、「本当のおめでとは3月末です」ということ
もあろうかと思いますが、新年を健やかに迎えられましたことを、
まずは共に喜びたいと思います。また旧年中は、本校の教育活動
にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。



さて 今日からスタートする3学期は年度の最後の学期、つまりまとめの学期となります。

3年生にとっては、受験という大きな山が目の前に迫っていますが、義務教育9年間の最終
学期として、有終の美を飾ってほしいと願っています。がんばってください。

1. 2年生は、2. 3年生へ進級するための出発準備をする学期です。日々の学校生活
のひとつひとつの地道なとりくみによる成長はもちろん、これまでの学習や生活を顧みて
不足を補い、完成に近い形としてまとめ上げる努力をしてほしいと思います。

また、本日、紹介がありましたが、新生徒会役員のみなさんは、更なる充実・発展を期
してがんばってほしいと思っています。新生徒会役員のみなさんを中心に「生徒一人一人が
安心でき、互いに大切にされていると実感できる学校」を全員でつくってほしいと願います。

そんな学校をつくるためにも(2学期の終業式でもお話ししましたが)『自問自答く自己対話

を通じて自己を深く理解すること』を日々、繰り返しながら生活してもらいたいと思っています。また、自分や集団の成長を妨げる要因として、「課題や壁から逃げる」「人や世の中のせいにする」が挙げられます。

『自問自答』
自分のしたことを、他の人々が評価する
ほめられる場合もあろうし、けなされる
場合もある。冷やかに無視されることも
あろうし、過分の評価にびっくりすること
もあろう。さまざまの見方があって、さま
ざまの評価である。
だから、うれしくなっても心おどる時も
あれば、理解の乏しさに心を暗くする
ときもある。一喜一憂は人の世の習い。
賢者いずれも、ありがたいわが身の戒めと
受け取りたい。
だがしかし、やっぱり大事なことは、他人
の評価もさることながら、まず自分で自分
を評価するということである。自分のした
ことが、本当に正しかったかどうか、その考
え、そのふるまいにほんとうに誤りがなかつ
たかどうか、素直に正しく自己評価する
ということである。
そのためには、素直な自問自答を、
くりかえし行わねばならない。みずからに
問いつ、みずから答える。これは決して
容易でない。安易な心がまえて、できる
ことではないのである。しかし、そこから真
の勇気がわく。真の知恵もわいてくる。
もう一度、自問自答してみたい。もう一
度、みずからに問い、みずからに答えたい。
松下幸之助

みなさんには、日々の課題や壁に徹底的に向き合ってほしいのです。そして、うまくいかな
ないことを人や世の中のせいにならず、うまくいかなければ、「この方法がダメならば、この方
法はどう？」とあれこれ試すなど、「解決は無理！」と決めつけずに乗り越えてみようと努力
してほしいのです。その努力はきっと自信や成長につながり、結果的には先ほど述べた「生
徒一人一人が安心でき、互いに大切にされていると実感できる学校」になると思っています。

生徒のみなさん一人一人にとって充実した3学期、そして1年になることを期待します。

生徒会が動き始めました！

3年生を中心とした本年度の生徒会執行部・専門委員長のみなさん、悩むことも多い1年間だったと思いますが、リーダーシップを発揮してくれたおかげで、行事や学校生活がスムーズに進んでいきました。本当に感謝しています。生徒会活動を継続・発展させるためにも、できたこと、効果があった方法、残された課題等を新執行部・専門委員長へと確実に伝えてほしいと思います。たすきを渡された新執行部・専門委員長のみなさんは、先輩方からのアドバイスを参考にして、公約として誓ったこと、残された課題等をどうしていくかを考え、実行に移していくようにがんばってください。

今日から新執行部・専門委員会が本格的に動き始めます。この冬休みには生徒会リーダー研修会も行い、リーダーとしての心構えや具体的な活動の確認、またこれまでの学校生活を振り返り、生徒会の課題解決をどう具体化するかを時間をかけ協議しています。

執行部・委員長としてよりよい生徒会にするための活動をしてけると期待しています。



冬休みのリーダー研修会の様子

親からの挑戦！ 笑顔あふれる楽しい時間となりました

12月7日(土)にPTA父親委員会主催の「親からの挑戦」ソフトバレー大会が行われ、生徒と大人の真剣勝負、笑顔あふれる楽しい時間となりました。また、温かくおいしい豚汁等も準備していただき、お世話をおかけしましたPTA父親委員会やPTA役員のみなさまに感謝しています。この「親からの挑戦」は、小郡中学校の伝統行事になっており、すばらしい取組だと思っています。



〈親からの挑戦〉
優勝は「先生チーム」

入選・入賞 おめでとう！

各種コンクールで入賞した生徒のみなさんを紹介いたします。「社会を明るくする運動作文コンテスト」でさんが優秀賞を、「中学生人権作文コンテスト」では、さんが久留米協議会賞を受賞しました。また、「交通安全図画コンクール」では、さんとさんが優良賞を受賞しました。入賞したどの作品も説得力のあるものばかりでした。入賞、おめでとう！



さん



さん

さんと

さんが優良賞を受賞

【祝】九州大会出場〈福岡県アンサンブルコンテストで金賞を受賞〉

12月21日(土)に飯塚コスモスコモンで福岡県アンサンブルコンテストが開催されました。本校からは、クラリネット三重奏(さん、さん、さん)が出演し、心に響くすばらしい演奏を披露してくれました。その結果、見事金賞を受賞、2月8日(土)に宮崎市民文化ホールで開催される九州アンサンブルコンテストに出場します。九州大会出場、おめでとう！九州大会もがんばってください。応援しています。



九州大会出場、おめでとう！